

令和元年度 放課後活動指導者研修 実施報告⑤

実施日：令和元年10月9日（水）

○講 話・事例発表

「よりよい放課後活動を目指して」

乙畑ひまわりスクール実行委員会会長

市村 謙作 氏

東京家政大学人文学部講師

宮地 孝宜 氏

始めに、矢板市乙畑ひまわりスクール実行委員会会長の市村謙作様より、活動実践事例を発表していただきました。ひまわりスクールは、「地域の子どもたちは、地域で守り育てる」という強い思いのもと、平成26年に開設され、現在52名のボランティアスタッフにより運営されているそうです。平日や長期休業中に児童を預かり見守る役割と、座禅体験や習字教室などの学びを提供する役割を担っていることや、地域とのつながりを大切にしていることなどを発表していただきました。



その後、東京家政大学の宮地先生から講話をいただきました。宮地先生は、社会教育学、生涯学習論がご専門で、ご自身も放課後子どもクラブの顧問として活動されています。

講話では、放課後子ども教室と放課後児童クラブの法的根拠や新・放課後子ども総合プランについて改めて確認しました。そして、放課後活動の指導者が「ナナメの関係」の良さを生かして子どもたちの放課後活動を充実させることで、ネットワークが広がり、地域の活性化に繋げることができるというお話をいただきました。



後半はKPT法を用いたグループ協議を行いました。KPT法とは、まず「K (Keep) = うまくいっていること」と「P (Problem) = 問題点」について話し合い、その後、「T (Try) = 試してみたいことや実現可能な行動」などについて考えていく手法です。うまくいっていることや課題に感じていることを付箋紙に書き出し、それについてグループで話し合うことで、今後の活動へのヒントを得ることができたようです。また、話し合いの様子から、悩みや課題を抱えながらも、子どもたちにとって安心して過ごせる「放課後」でありたいという受講者の皆さんの思いを感じることができました。



★ 受講者の声 ★

- ・地域の方が積極的に課題解決に取り組んだことが分かる、非常に良い事例発表だった。
- ・放課後の活動を充実させるために、地域の力を活用する必要性を感じた。
- ・形態の違う放課後の活動や他地域の様子が聞けて、良い機会だった。
- ・事例発表やグループ協議を通して、今後の取組へのヒントが見えた。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL: 028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp